

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020 年 1 月 18 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」大沼校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2		利用者に合わせた支援スペースを提供していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	3		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2		2	事務スペースと支援スペースをはっきりと区切り、侵入禁止の所は視覚的に分かるよう絵を描き、掲示していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ブログを月 2 回更新している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		会社として発達支援研究所と連携して研修を行っている。外部研修にも、できる限り参加していく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2		保護者との面談の機会を設け、課題を分析し、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	3		なるべくローテーションで支援をし、前回の記録や話し合いでプログラムを立てている。チーム内の情報共有を強化していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	3		利用者の課題に合わせてプログラムを立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		月 1 回、小集団を設定し、その中で見えてきた課題を個別支援の中に取り入れている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1	1	前回の支援内容や様子を記録や打ち合わせにより確認している。大事な情報はミーティング等で情報共有を行っていく。情報共有シートを活用しながら気づいた点等を共有していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3		1	次の日のミーティングで支援の振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3		1	6か月のモニタリング期間にこだわらず、状況が変化した時には支援計画の見直しを行っている。保護者の要望の変化をとらえて、保護者面談を行い、支援計画を変更していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2		2	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2		毎回児発管が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3		毎回のフィードバックや面談等を通して、保護者への支援を行っている。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	小集団を行うことで保護者同士のつながりができるような機会を設けていく。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	3		きらりのホームページ内にブログを作成し、月2回更新している。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	1	2	1	個人情報はロッカーに施錠し管理している。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		1	
	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		
非常時等の対応	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			毎月1回避難訓練を実施している。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2		虐待を未然に防げるよう関係機関とも連携を図る。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	1	2	虐待防止委員会により、組織として身体拘束の基準を設けていく。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3		1	医療機関や服薬等の情報を毎年更新している。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			その都度シートに記入し、対応策を話し合っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2020年 1月 18日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」大沼校

保護者等数（児童数）：35 回収数：22 割合：63%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1	1	一度に3人に対応するにはスペースが狭いと思われる。 スペースを有効に使用していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	4	0	LITALICOに比べると専門性が劣る。 専門性については研修を行っていく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	12	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	18	4	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	17	4	1	国語、算数の他にコミュニケーション能力を高めるプログラムが欲しい。 指導員とのやり取りを通して、コミュニケーション能力を高めている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	4	11	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	2	1	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	6	0	面談したことがない。 支援後のフィードバック時に保護者より困り感を傾聴し、必要に応じて事業所内で保護者との面談をし、解決していく。また、支援計画の更新時にも面談を行い、その結果を支援計画に反映させていく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	10	9	保護者同士との接点はほとんどない。 月1回小集団を行うことで保護者同士のつながりを強化していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、	13	10	1	苦情を言ったことがない。 苦情はいつでも受け付けている。

		苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	4	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	6	3	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	19	2	1	分からない。 個人情報はロッカーに保管し、施錠している。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	3	2	マニュアル等を渡されたことがない。 マニュアル等は掲示していきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	8	1	訓練が行われたということは聞いたことがない。 ヘルメット等は職員のデスクや常に手の届く場所が良いと思う。各スペースなどの所に引っかけて置くとか職員側の裏に置くとかすると良いと思う。 やっているかもしれませんが、当たったことが無いので詳細は不明。 避難訓練は月に一回行っている。避難訓練の日が分かるよう掲示していく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	14	7	0	最近慣れてきたのか飽きてきたのか。 病気等で行けない時は残念そうにしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	18	2	0	勉強にもっと力を入れたいけど、本人のやる気を引き出すとともに、興味を出す方法を考えて欲しい。 まだ、苦手な所があるようだが友人などに教えたりしています。 フィードバック時に、保護者から困り感を聞き、次回の支援に活かしている。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。